

# 徳島市における 災害対応への取組について

令和6年2月14日(水)

徳島市危機管理局

# 南海トラフ地震

## 徳島市の被害想定

	揺れ	液状化	急傾斜地	津波	火災	合計
建物全壊(棟)	22,300	190	70	16,200	9,600	48,300
死者(人)	1400	若干名	若干名	8600	410	10,400

南海トラフ

南海トラフ巨大地震の  
想定震源域



最大震度

**7**



想定される津波高

最大 **5m** 超

# 目次

- 1 情報収集体制の強化
- 2 災害対応機能の強化
- 3 災害対応力の強化

# 1 情報収集体制の強化

## 災害用映像情報収集ネットワークの整備について

徳島市では、災害発生時に、迅速に市内の被災状況を把握・収集し、適時適切に応急対策・避難対策を実施するため、高所カメラの設置や、河川監視カメラへの接続などによる災害用映像情報収集のネットワークの整備を進めています。



令和5年度には、

**本庁舎屋上に2台、眉山山頂に1台**

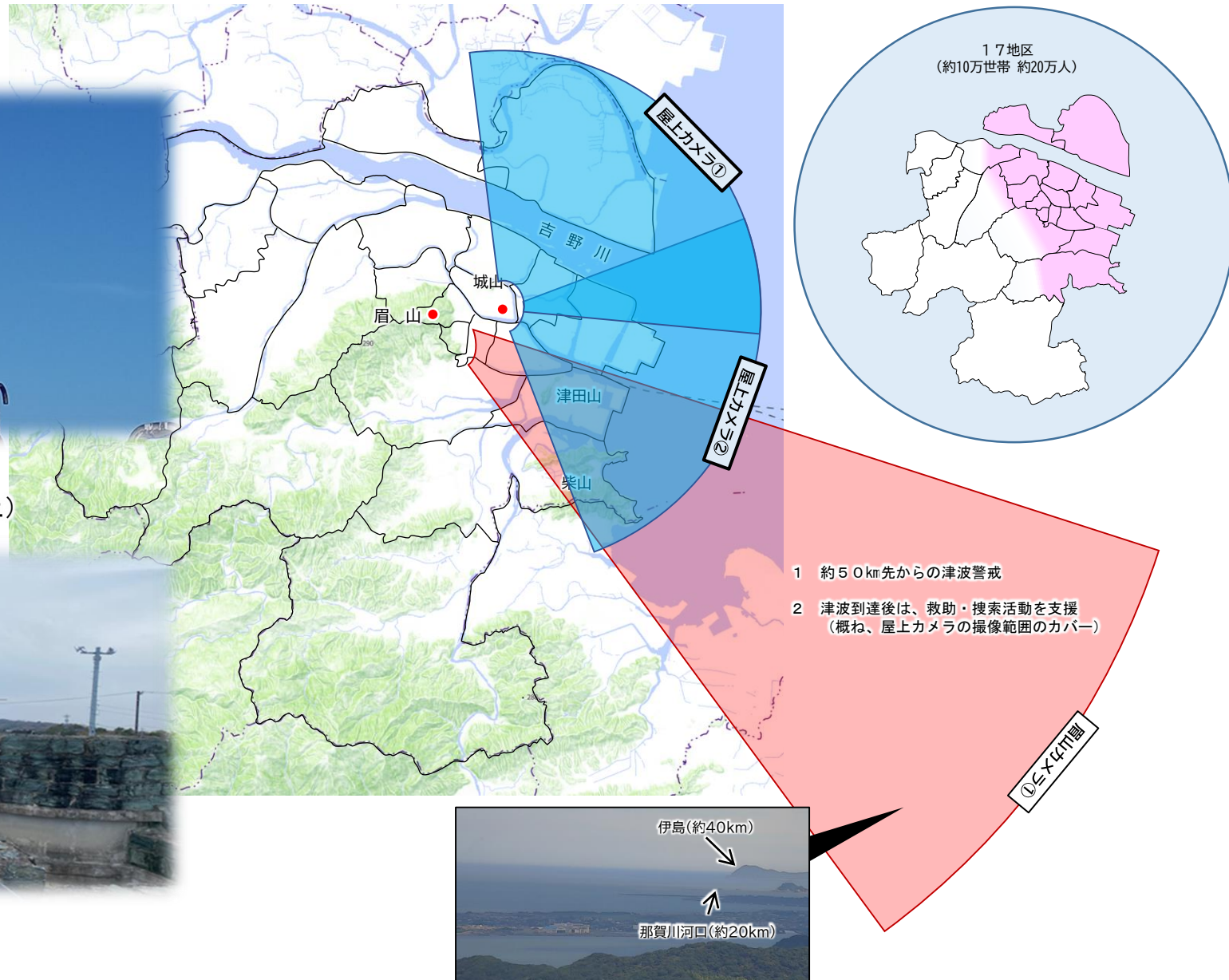
高所カメラを設置し、L1地震発生時の津波浸水想定地域の映像情報を収集できる体制を整備しました。

# 災害用映像情報収集ネットワーク整備事業におけるカバー範囲 (令和5年度事業)

## ● 本庁舎屋上カメラ (2台)



## ● 眉山カメラ (マチアソビカフェ屋上)



## ドローン実証実験について

実証実験においては、Wi-Fi HaLowとカメラ、RTK-GNSS搭載ドローンによる自動航行を活用し被災状況の情報収集を行うことで、救助の優先順位付けを行い発見遅れによる死者ゼロを目指すなど、南海トラフ地震の影響を受けにくい安心安全なまちづくりに寄与することを目標として実施しました。

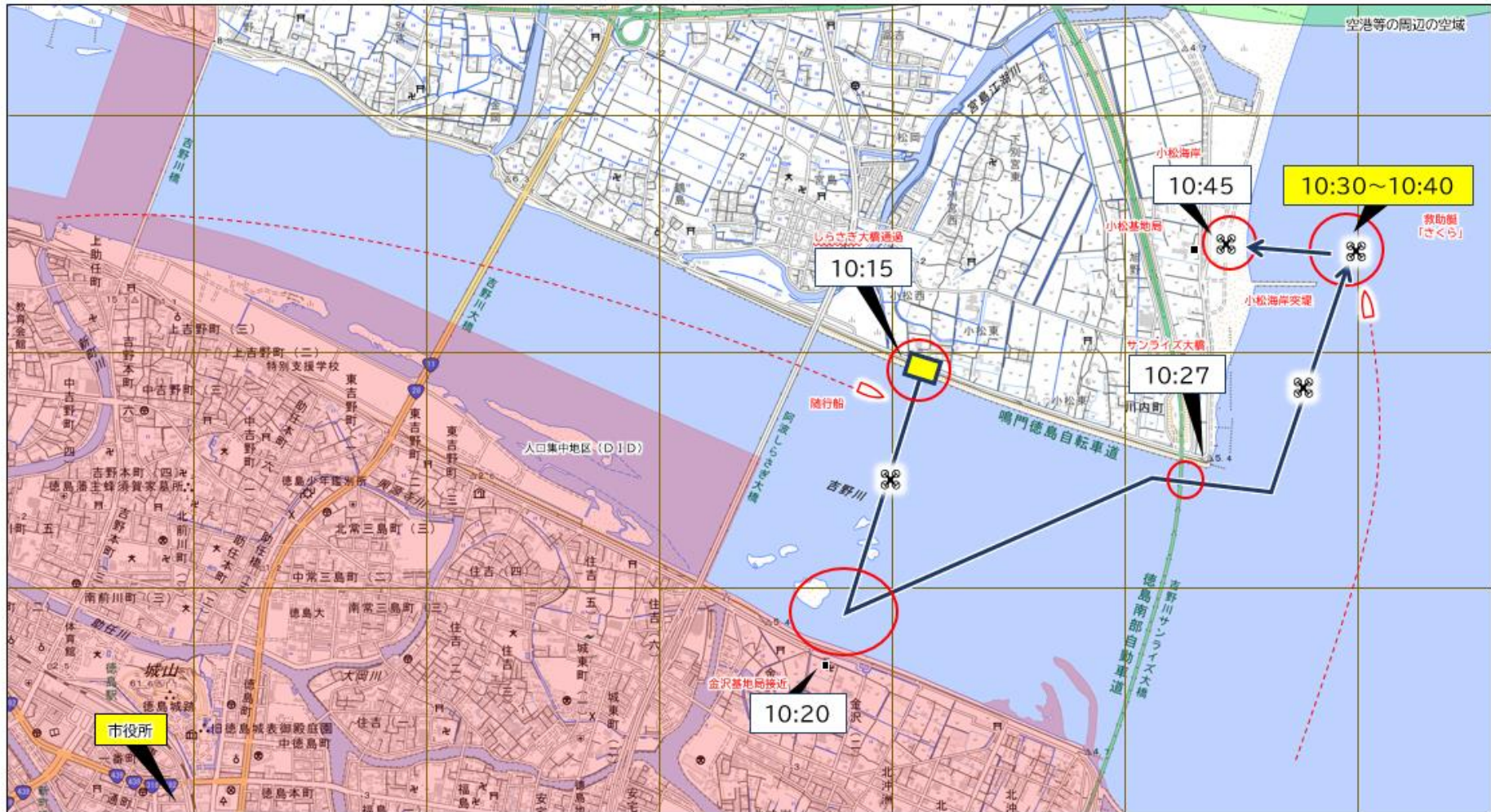


# ドローン実証実験について

## 実証実験飛行経路

10:10 時間は、予定通過時刻

○ 安全確認強化地域





# カメラ映像のデータ共有について

徳島市では、市域の災害状況を把握する高所カメラのほか、国、県からの防災・災害対策用映像の提供を受けています。

設置者	運用目的	接続時期	場 所	接続要領
徳島県 危機管理環境部	災害対策	令和3年	【CCTVカメラ】 ① 県庁屋上 ② 眉山 ③ 県土整備局屋上 ④ 県防災センター屋上	県CCTVシステムにインターネット回線で接続
国土交通省 四国地方整備局	河川・国道 の管理	令和5年	【CCTVカメラ】 1 国管理河川 ① 吉野川 ② 今切川 ※ 市域の河川施設 (堤防は切れ目なし) 2 国管理国道 ① 国道11号線 ② 国道55号線 ③ 国道192号線	徳島河川国道事務所の映像情報共有化システムに専用回線（NTT西日本のVPN）で接続

## 2 災害対応機能の強化

# 徳島市危機管理センター(仮称)の整備について

本市では、災害対応の拠点となる「危機管理センター(仮称)」の整備を進めており、令和7年度中の開設を目指しています。

危機管理センター(仮称)には、

「災害対策本部機能」

「情報収集・分析機能」

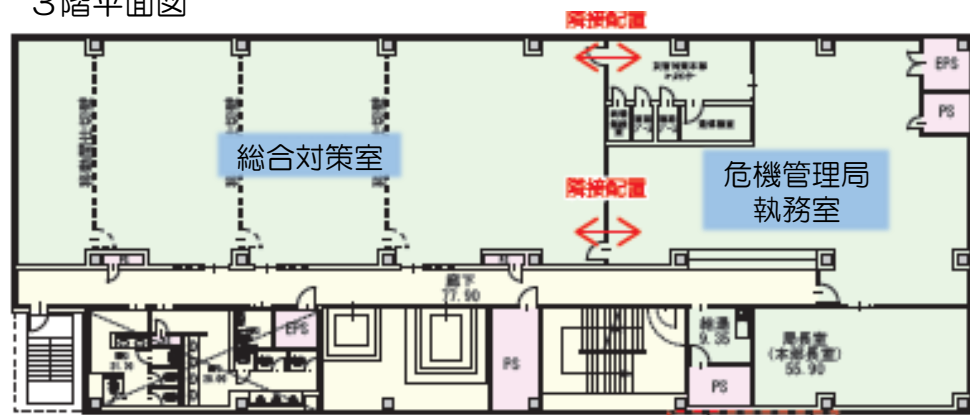
「情報伝達・発信機能」

に対応する施設を整備することとしており、災害対策本部の常設や、災害対策関係機関が参集し、災害発生時の被害状況や対応状況に関する情報の一元的な収集、処理、分析、対策の立案を行う場としてオペレーションルームを設けます。



# 徳島市危機管理センター(仮称)の整備について

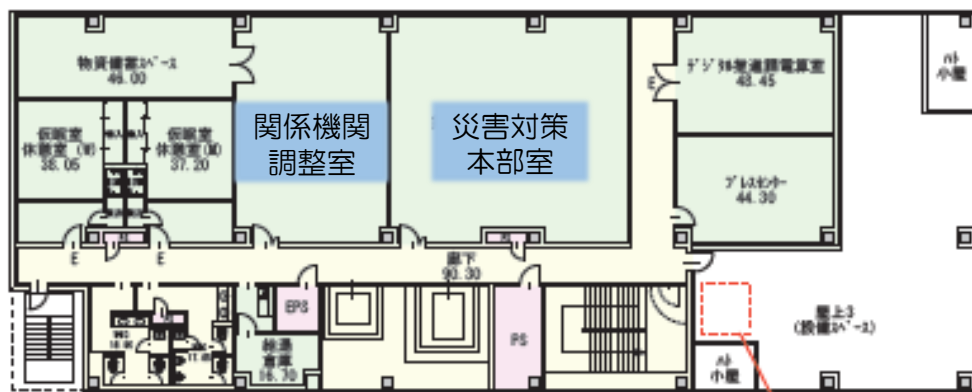
3階平面図



(「基本設計 令和5年3月」より)

3階には危機管理局の執務室や**総合対策室**を計画しており、総合対策室には、市各部局及び関係機関が参集し、災害発生時の被害状況に関する情報を一元的に管理する部屋と計画しています。

4階平面図



(「基本設計 令和5年3月」より)

4階には**災害対策本部室**、**関係機関調整室**を計画しており、災害対策本部室は、災害対策本部員と関係機関が参集し、情報共有や協議、災害対応に関する意思決定を行う部屋と計画しています。

# 徳島市危機管理センター(仮称)の整備について

## 危機管理センター新築に伴う通信機器等の整備

- 徳島県総合情報通信ネットワークシステム
- 徳島市防災行政無線
- デジタルMCA無線
- 衛星電話

など



防災行政無線



デジタルMCA無線

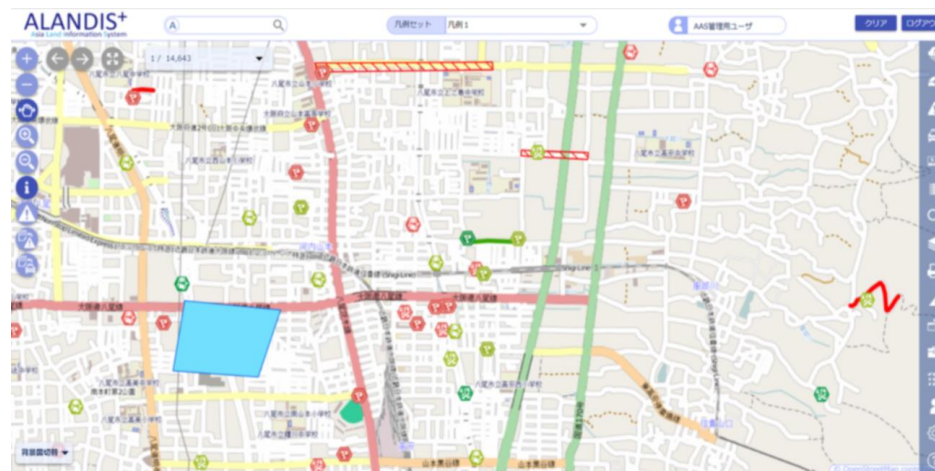


衛星電話

# 災害情報管理・共有システムについて (ALANDIS)

災害情報管理・共有システムは、大規模災害時における災害情報等を全庁的に管理・共有し、情報を一元化することで、効果的な初動対応を図ることを目的として、令和3年度に構築したシステムです。

徳島市  
災害情報管理共有システム



# B & G財団「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」について

## 防災拠点整備及び災害時相互支援体制の構築について

### 【背景】

B & G財団から、3年間で総額4,400万円を上限とする助成等の支援を受け、災害時の緊急対応・避難所運営に必要な重機や救助艇等の機材配備及び防災倉庫の設置を実施し、重機操作研修等により人材の育成を行い、災害時の支援隊派遣による他自治体との相互支援体制を構築。



### 令和3年度

- 9月 助成希望意思確認書提出
- 12月 機材配備・研修支援金決定

### 令和4年度

- 5月 防災拠点事業決定書授与式
- 9月 防災ポスターコンクール開催
- 10月 広域重機操作研修B:長野県(指導員2名)  
超小旋回ミニショベル整備(動物園配置)
- 11月 広域災害拠点研修A:東京都(指導員2名)  
水上オートバイ整備(消防局配置)
- 1月 重機特別教育(災害派遣登録員20名)
- 3月 重機災害対応研修(災害派遣登録員13名)

### 令和5年度～

- 4月 スライドダンプ配備
- 6月 防災倉庫完成(ポスターコンクール作品デザイン)
- 7月頃 広域災害対応研修:福島県(指導員2名)
- 10月～12月頃 災害時応援重機派遣隊発足式(22人)  
広域災害拠点研修A:東京都(指導員2名)  
重機特別教育:解体(災害派遣登録員30名)  
避難所運営訓練(総合防災訓練2地区)
- 1月頃 B & G財団協定締結式・配備機材展示式
- 時期未定 重機特別研修:整地(災害派遣登録員約10名)  
重機災害対応研修(災害派遣登録員20名)

被災自治体への  
広域応援派遣対応



防災拠点整備・災害応援重機派遣

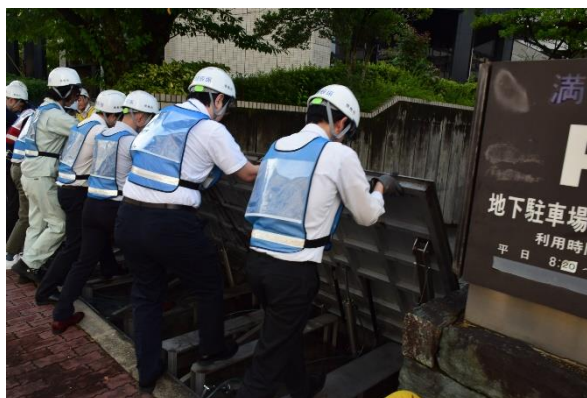
# 3 災害対応力の強化 (人材育成)



# 職員訓練の実施について

## ○本庁舎避難訓練【令和5年6月28日（水）実施】

南海トラフ地震発生時における来庁者及び職員  
の安全確保、応急救護、津波避難行動及び災害対  
策本部の開設について訓練してその能力の向上を  
図ることを目的として実施しました。



# 職員訓練の実施について

## ○福祉避難所開設訓練【令和5年11月10日（金）実施】

福祉避難所は、南海トラフ巨大地震や直下型地震等の大規模災害時に、必要に応じて、指定避難所等での生活が困難な人々（要配慮者等）を対象とした避難所です。

今回の訓練は、障害者（児）施設の一部を福祉避難所として開設する場合を想定し、施設職員が開設準備、災害対策本部等との調整及び要配慮者の受入れ等について訓練することによって、災害対応能力の向上を図ることを目的として実施しました。

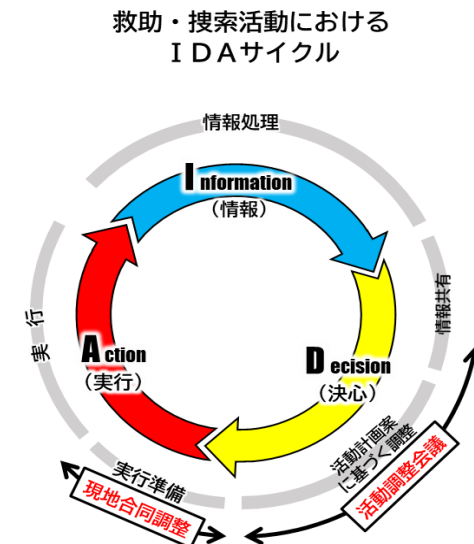
場 所：社会福祉法人徳島県社会福祉事業団 障害児入所施設「未来」  
及び地域生活支援拠点「ふらっとKOKUFU」



# 職員訓練の実施について

## ○捜索・救助訓練【令和6年2月15日（木）実施予定】

南海トラフ地震により大規模な災害が発生した状況を想定し、徳島市災害対策本部が実施する救助・捜索活動について、消防局を中心とし、関係機関等と調整を行い、発災後3日目の救助活動計画を作成することを到達目標として実施します。



# 職員訓練の実施について

令和8年度には、危機管理センターの開設に合わせ、  
**各対策部の運営訓練を実施予定**

